

2015年8月11日掲載分

「冒険する生き方」

就職活動のスケジュールが変わり、8月1日から来春卒業者の面接が解禁になった。昨年より4か月遅いスタートだ。街を歩いているとスーツ姿の学生をよく見かける。その表情はどこか不安げだ。

そんな中、札幌で高校生や大学生など、これから社会に出る人を対象にした「冒険する生き方」というトークイベントに参加した。ゲストは、プロスポーツ選手を目指して海外のチームに所属したり、大学卒業後にゲストハウスを開いたりするなど、多くの人と違う人生の選択をした4人だ。彼らから共通して感じたのは、大変なことはあっても、楽しそうに生き生きと取り組んでいることだった。

海外、特に欧州では新卒一括採用の概念がなく、大学卒業後に仕事を探すことも多い。フィンランドでは、高校卒業後にそのまま大学に進学する生徒は少数で、アルバイトなどで自分のやりたいことを見つける期間があるという。

日本のように一斉に就職活動するのは、働く意識を高めたり、職業を経験するメリットもあるが、「就職しなければ」という重圧もあるように思う。その時期に本当にやりたいことが見つかっていなければ、将来への不安も増すのではないだろうか。

人によって考え方や価値観は違う。新しいことにチャレンジすることは、いわば「冒険」である。たとえ失敗してもそこから学ぶことはたくさんある。高校時代など若いうちから何かに挑戦し続け、自分の意志で自分の未来を切り開いて欲しいと願っている。

(毎日新聞)

森順子：千葉県出身。36歳。ハッピーアロー代表取締役。元TVhアナウンサー。キャリア教育、面接指導、企業研修などを行う。